

国際業務の 窓辺から

CLAIR 経験者からの
メッセージ

高知からシドニー、そして世界へ ~We Are The World~



高知県林業振興・環境部 木材産業振興課 チーフ 谷本 貴則

私はクレアへの派遣で「人脈という財産」を世界中に築くことができました。

東京本部では JET プログラム事業部調整課の配属となり、ドイツ、アメリカ、オーストラリア、ベトナム出身のスタッフと一緒に仕事をしました。ミーティングは、いつもグローバルな視点でアイデア満載の意見が飛び交っていましたので、日々、国際感覚が磨かれていきました。JET プログラムの来日対応や、地方版キャリアフェアなどの事業を通じて、地域の国際化を進めるうえで何が必要か、深く学ぶことができた1年間でした。

クレアシドニー事務所では、多文化共生プログラム、姉妹都市交流、経済交流、各地の日本祭りでの PR に従事しました。



東京本部の同僚。筆者右から4人目

姉妹都市交流では、周年事業などで来豪する地方自治体の依頼を受けて同行支援を行いました。また、経済交流においては、豪州市場へ観光や地場産品を売り込む地方自治体からの依頼を受けて旅行会社へのアポイント取得から同行支援を行いました。赴任後初めてのメルボルン出張では、共同出展ブースのスタッフが、高知県宿毛市の元国際交流員でしたので、JET プログラムは、日本国内だけでなく、世界中に笑顔をつくる国際交流だと実感しました。

また、インターンシップを、ニュージーランド北島のファカタネ市で受け入れていただきました。アンドリュー議員（現副市長）のお家にホームステイさせていただき、高知県須崎市と友好都市であるタウランガ市への訪問や、林業の作業現場の視察、乳製品工場の見学、また、マオリ文化から多文化共生の取り組みまで多岐に

わたるさまざまな体験をさせていただきました。ファカタネ市は私の第二の故郷になっています。また、このインターンシップで訪問した、サイオン（ニュージーランド森林研究所）のリチャード・ヤオ博士にご協力いただいたお陰で、「ニュージーランドの地方自治体における森林施策」についてクレアレポートを執筆することができました。

帰国後は、国際交流課の所属となり、クレアでの経験から、海外との調整などをスムーズに行うことができました。現在は、林業セクションで製材工場や木質バ



ファカタネ市のトニー・ボーン市長（当時）と筆者

イオマスなどの業務に従事していますので、ニュージーランドでの経験を活かすことができそうです。

最後に、この3年間の派遣で知り合った、全国から集まった自治体職員の同僚、オーストラリアとニュージーランドの自治体職員の方々、シドニー総領事館のソフトボールチームの日系企業、JETRO、JF の皆さん、そして、息子の通った学校で知り合った皆さん、全ての人々との出会いが、私にとっての宝であり財産です。これからも人と人との出会いを大切に、高知を世界に発信していきたいと思います。

プロフィール・ほか

- 現所属：高知県林業振興・環境部 木材産業振興課
- クレア在籍から現所属まで：
 - 2017年～2018年 クレア本部 JET プログラム事業部調整課
 - 2018年～2020年 クレアシドニー事務所
 - 2020年～2021年 高知県文化生活スポーツ部国際交流課